

○△□ えほんのせかい

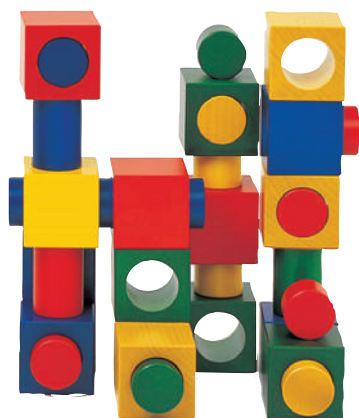
目黒区美術館 トイコレクション

2025.

7.5 – 8.24

sat

sun



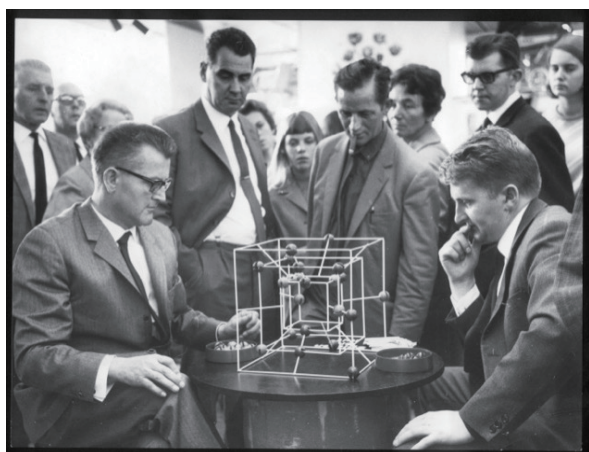
③ リグノ ペーター・シュミット 1962 年
ネフ社・スイス

まる
さんかく
ぞう

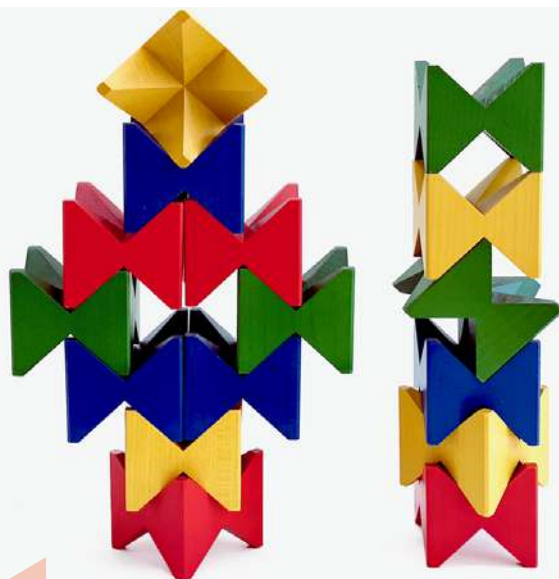
及川賢治
竹内繭子



① 『まるさんかくぞう』表紙 及川賢治・竹内繭子 2008 年 文溪堂



④ スイス、バーゼルの見本市でのクルト・ネフ氏（左）
© Naef Spiele AG, Zofingen Photographer Peter Schnetz, Basel



② ネフスピール クルト・ネフ 1958 年
ネフ社・スイス

同時開催

クルト・ネフ生誕 99 年

展覧会概要

プレイコーナーで
あそべます！



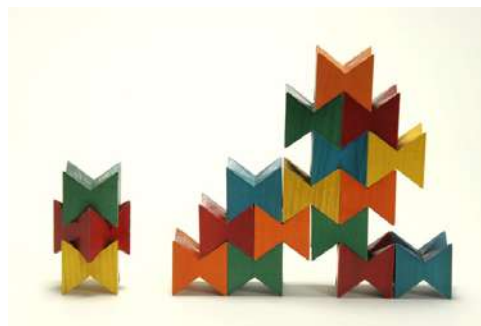
⑤ 樹々の積み木
海馬室内木地製作所
1978 年



⑥ 本に出会う前の本 ブルーノ・ムナーリ
1980 年 ダネーゼ社・イタリア



⑦ 童話あそび エンツォ・マーリ
1965 年 ダネーゼ社・イタリア



⑧ ネフスピール（初期） クルト・ネフ
1958 年 ネフ社・スイス

おもちゃはファンタジーを生み出すものであったり、
発達を促すものでなくてはなりません。
何通りもの形で遊ぶことができ、
美しくなければいけません。
なぜなら、子どもたちはおもちゃを通して、
様々な世界を知っていくからです。

Kurt Naef / クルト・ネフ

あなたの目の前に積み木があると、想像してみてください。自然と、
積んだり、並べたり、手が動き始めませんか？ 私たちはいつから「遊ぶ」
ようになるのでしょうか。

人間の赤ちゃんの視力は、成長とともに発達し、色や形をだんだんと
認識できるようになります。やがて自分の手の存在に気がつき、おおよ
そ 1 歳前後には、物を意識的につかんだり、離したりと、手を動かせる
ようになります。赤ちゃんの視覚や触覚はこの時期に急激に成長するの
ですが、絵本や玩具に接することで、取り巻く世界は広がり、豊かにな
ります。

この度、及川賢治と竹内繭子の絵本作品を取り上げます。絵本『まる
さんかくどう』には、カラフルなかたちが 3 つ登場します。それらは積
まれており、一番上に丸いかたち、真ん中に三角、そして一番下には象
がいます。他にも、船、帽子… 実際には積み重ねられるはずのない、
大きさや重量が異なるものが積まれているため、違和感を覚える方もい
るかもしれません。しかし絵本には、そんな非現実を軽々と越えていく
想像力とイラストレーション、デザインの力があります。まさにこれこ
そが絵本の魅力です。作者の及川賢治の言葉、「形にもリズムがあるなと
思う。人間はみんな積み木をしたり粘土をしたりしてリズムやノイズを
つくって喜んでいる」は、人間には「遊ぶ」力が備わっていることを私
たちに教えてくれます。

当館では、1987 年の開館以前より、国内外の優れたデザインのトイを
収集してきました。このトイコレクションは、「手で考える」という視点
で選定されてきました。例えば、一つの形が様々な形に展開できるものや、
年齢を問わずイマジネーションを膨らませてくれるものです。トイを手
で触れることで、私たちの想像力や独創性は刺激され羽ばたきます。
1995 年からは「トイコレクションボランティアチーム」を館内に発足さ
せ、コミュニケーション・ツールとしてトイコレクションをとらえ、そ
の可能性をさらに広げる活動を展開してきました。今年はチーム発足か
ら 30 周年を迎えます。今回の展示では、実際にトイで遊んでいただける
プレイコーナーで、チームメンバーが中心になって、皆様をお迎えします。

人は人を通じて成長します。その関わり方をさらに豊かにしてくれる
のが絵本と玩具です。本展では人を育むすてきな 2 冊の絵本と当館のト
イコレクションを展示します。絵本は拡大した造作物で展示され、絵本
の世界をダイナミックに体感できる仕掛けとなります。

同時開催として、「クルト・ネフ生誕 99 年」展を開催いたします。当
館トイコレクションの中心となっている、スイスのトイメーカー、Naef（ネ
フ）社の創立者であるクルト・ネフを紹介する展覧会です。

ネフは新しい発想の玩具を次々と発表し、20 世紀後半における世界の
玩具の歴史に多大な影響を与えてきました。優れたトイメーカーとして
の功績や、Naef 社のこれまでの歩み、そして貴重なトイを紹介いたします。

Kurt Naef

1926-2006

スイスの農村エプティンゲンで生まれ、
自然に囲まれた子ども時代を過ごす。
1954 年に家具とインテリアの会社、Naef
社を設立。1956 年には家具だけでなく、
美しい玩具を作ることに挑戦し、ネフス
ピールを開発。1958 年には量産化され、
現在も作り続けられるロングセラーと
なった。生涯をかけて優れた玩具を発表
し続けた。



⑨ Kurt Naef © Naef Spiele AG, Zofingen

開催情報

タイトル	○△□えほんのせかい + 目黒区美術館トイコレクション 同時開催 クルト・ネフ生誕 99 年
会 期	2025 年 7 月 5 日(土)－8 月 24 日(日)
会 場	目黒区美術館 (東京都目黒区目黒 2-4-36)
開館時間	10:00－18:00 (入館は 17:30 まで)
休 館 日	月曜日 (ただし、7/21(月祝)と 8/11(月祝)は開館、7/22(火)と 8/12(火)は休館)
観 覧 料	一般 900(700)円、大高生・65 歳以上 700(550)円、中学生以下無料 ※障がいのある方とその付添者 1 名は無料、()内は 20 名以上の団体料金 ※目黒区在住、在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示いただくと団体料金になります
主 催	公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
協 力	ネフ社・スイス / Naef Spiele AG、株式会社 アトリエ ニキティキ
助 成	独立行政法人 日本芸術文化振興会 
協 賛	公益財団法人 北野生涯教育振興会
交通機関	JR 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線 「目黒」駅(西口)から徒歩 10 分 東急東横線・東京メトロ日比谷線 「中目黒」駅から徒歩 20 分 東急バス 「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩 5 分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩 3 分

関連催事

■トイプレイコーナー

日時：会期中の開館日毎日 10:00－17:00 (16:50 よりお片付けタイム)
場所：展示室 参加方法、定員：当日先着順 ※混雑時は 15 名程度で、時間交替制といたします
ナビゲーター：目黒区美術館トイコレクションボランティアチーム ほか
当館のトイコレクションで遊べるコーナーです。

■ニキティキ西川涼さんと一緒にギャラリーツアー

日時：8 月 2 日(土) 14:00－15:00
場所：展示室 参加方法、定員：当日先着順、20 名程度
講師：西川涼 / 株式会社 アトリエ ニキティキ 代表
本展出品作品のネフ社のトイについてお話ししながら、一緒に展示を鑑賞します。

■大人のための美術カフェ

日時：7 月 21 日(月・祝) 14:00－15:00
場所：ワークショップ室 参加方法、定員：当日先着順、20 名程度
本展の担当学芸員が当館トイコレクションを中心に、展覧会の魅力をお話します。

※混雑時は人数を制限する場合があります。 ※入場には当日有効の展覧会観覧券が必要です。
この他にもトークイベントや同時開催ワークショップ 2025 夏「○△□トイと絵本」で展覧会に関連する講座を開催予定です。
詳しくはホームページなどをご覧ください。

広報用写真

本リリース掲載の図版 ①～⑨を本展広報用写真としてご提供いたします。
ご希望の方は、申込用紙(4 ページ目)の内容をご確認の上、必要事項をご記入いただき、
FAX でお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにてお申し込みください。
画像のキャプションは作品名、デザイナーまたは作者、発売年の順に記載しています。

本展の問合せ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 重田 / 広報担当(事務) 丸
〒153-0063 東京都目黒区目黒 2-4-36 tel. 03-3714-1201(代) fax. 03-3715-9328
e-mail: mmatoffice@mmat.jp <https://www.mmat.jp>

○△□えほんのせかい + 目黒区美術館トイコレクション

同時開催 クルト・ネフ生誕 99 年

広報用画像申込書

宛先：目黒区美術館

○△□えほんのせかい + 目黒区美術館トイコレクション

担当者 宛

同時開催 クルト・ネフ生誕 99 年

FAX：03-3715-9328

E-mail：mmatoffice@mmat.jp

- 本票に必要な事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の図版番号をお知らせ下さい。掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

お申し込み日	年 月 日						
御社名							
ご担当者氏名							
住所	〒						
TEL		FAX					
E-mail							
掲示媒体名 (雑誌名など)							
メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 () 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ()						
発行・放送予定日	年 月 日						
ご希望の画像	<table><tr><td>図版番号</td><td>使用条件等</td></tr><tr><td>①～⑨のご希望の図版番号をご記入ください</td><td>*写真画像への文字載せは不可です。 *原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。 但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *各作品のキャプション及びクレジットを必ず明記してください。</td></tr></table>			図版番号	使用条件等	①～⑨のご希望の図版番号をご記入ください	*写真画像への文字載せは不可です。 *原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。 但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *各作品のキャプション及びクレジットを必ず明記してください。
図版番号	使用条件等						
①～⑨のご希望の図版番号をご記入ください	*写真画像への文字載せは不可です。 *原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。 但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *各作品のキャプション及びクレジットを必ず明記してください。						
連絡欄							

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。
お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。
必ずご確認くださいますようお願いいたします。

【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用後、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- ・掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。
- ・Webサイトは公開後にURLをお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

◎ 本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券
(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。
ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

< 広報用画像に関する問い合わせ先 >

目黒区美術館
TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328
展覧会担当：(学芸) 重田
(広報・事務) 丸